

令和5年佐久市議会第1回定例会 代表質問通告書

質問 順位	質 問 者	質 問 要 旨
1	令和政策研究会 (神 津 正) (土 屋 俊 重)	<p>1 令和5年度当初予算編成と新規事業に向けた施政方針、市政運営について</p> <p>(1) 編成に対する考え方と主要事業に関する市長の所感について</p> <p>ア 当初予算編成方針について</p> <p>イ 人口減少対策について</p> <p>ウ 佐久市佐久平女性大学について</p> <p>(2) 区要望の予算確保について</p> <p>ア 次年度に見送られた公共土木事業の理由について</p> <p>イ 狭あい道路整備について</p> <p>(3) 開発申請に伴う緑地の管理について</p> <p>ア 開発申請に伴う緑地の現状について</p> <p>イ 緑地の管理の課題と対応について</p> <p>(4) 農業者への新たな補助制度について</p> <p>ア 飼料等の価格高騰及びスマート農業に対する佐久市独自の補助制度について</p> <p>イ 堆肥や下水道汚泥肥料の利用拡大の可能性について</p> <p>(5) 新佐久市ハーフマラソン大会(仮称)について</p> <p>ア 関係区に対しての関わりについて</p> <p>イ 交通規制、スタッフについて</p> <p>(6) 佐久平駅の利便性について</p> <p>(7) 新たな工業団地の現状について</p> <p>(8) 沖縄県糸満市にある小池軍医の追悼碑について</p> <p>ア ふじ学徒隊との関わりや小池軍医に関する顕彰、また、小池軍医の追悼碑について</p> <p>イ 糸満市との観光交流について</p> <p>2 持続可能な佐久市立国保浅間総合病院の運営について</p> <p>(1) 欠損金の増加はどのような影響があるか</p> <p>(2) 年度末資金残高の減少について</p> <p>(3) 一時借入金について</p> <p>ア 令和4年度は一時借入れをするのか、あるいはしたのか。また、令和5年度はするのか</p> <p>(4) 病床稼働率について</p> <p>(5) 基準内繰入金と交付税措置額について</p> <p>(6) 浅間総合病院の令和4年度の取組について</p> <p>ア 経営改革委員会の新設について</p> <p>イ 総務省の経営アドバイザーの支援について</p> <p>ウ 公立病院経営強化プランの策定について</p> <p>(7) 土地利用について</p> <p>ア 患者駐車場について所有の土地及び借用している土地の借地料と駐車台数</p> <p>イ 職員駐車場について所有の土地及び借用している土地の借地料と駐車台数</p> <p>ウ 医師住宅の戸数、使用している戸数及び使用料</p> <p>エ 用地の利活用や医師住宅の今後について浅間総合病院の考えは</p> <p>3 小海線の存続について</p> <p>(1) 小海線の存続について市の考えは</p> <p>(2) 市は県や国に対して支援を要望していくのか</p>

質問 順位	質 問 者	質 問 要 旨
2	氣 志 の 会 (中條 壽一)	<p>1 これからの佐久市の方向性について (1) 新市合併のこれまでの取組について (2) 今後どのような方向性を持って取り組んでいくのか</p> <p>2 第二次佐久市観光振興ビジョンについて (1) 現状と課題 (2) 小海線沿線における今後の観光振興策について</p>
3	み ら い の 風 (吉川 友子)	<p>1 有機農業の推進について (1) 有機農業拡大の戦略について (2) 給食での有機農産物の使用について</p> <p>2 小海線の利用促進について (1) 小海線に関係する協議会の現状について ア 小海線に関係する協議会の名称や目的など (2) 小海線の存続・利用促進における協議会の役割について</p> <p>3 男女共同参画におけるアンコンシャス・バイアスについて (1) 佐久市の現状について (2) 解消に向けた取組について</p> <p>4 子育て支援策について (1) 待機児童数について (2) 育休により退園をした児童数について (3) 育休による退園後の再入園の状況について (4) 子育て施策として育休による退園を廃止できないか</p>
4	日 本 共 産 党 (内藤 祐子)	<p>1 佐久市の基金等について (1) 基金残高状況と適正な在り方 ア 財政調整基金の総務省調査(平成29年11月)に何と回答したのか イ 全国自治体の8割が「標準財政規模の20%以下」と回答していることについての認識 ウ 減債基金の現状についての考え エ その他特定目的基金が県内19市中1位であることについての考え オ 繰上償還が多いことについての考え (2) 繰上償還分は市民のために使うべきではないか ア 学校給食費無料とするのに年間いくら必要か イ 子どもの福祉医療費の受給者負担金を無料とするのにいくら必要か ウ 就学援助給食費補助を8割から10割にするのにいくら必要か エ 福祉事業所の指定管理料を2倍にするのにいくら必要か</p> <p>2 優しい国民健康保険制度に (1) 短期保険証は廃止すべきではないか ア 昨年度と今年度の短期保険証の交付状況と傾向 イ 子どもの短期保険証はまず廃止すべきではないか (2) 国保事業基金について ア 基金の適正規模はいくらか イ 2021年、10億円を一般会計へ繰り戻したが、それ以降に基金を積み上げたことについての見解</p>

質問 順位	質 問 者	質 問 要 旨
		<p>ウ 県内19市を比較しての見解</p> <p>(3) 国保税の更なる引下げをすべきではないか</p> <p>ア 今回の資産割の廃止を含め、引下げの根拠</p> <p>イ 県内19市中の佐久市の国保税の相対評価は</p> <p>ウ 健全化計画の見通しは厳しすぎたのではない か</p> <p>エ 様々な状況を踏まえ、更に大幅な引下げを すべきではないか</p>
5	公 明 党 (江本信彦)	<p>1 佐久市の教育について</p> <p>(1) ICT機器を用いた児童生徒の相談窓口につ いて</p> <p>ア 先進事例の調査の状況について</p> <p>イ 市教育委員会としての考え方について</p> <p>ウ 今後の予定について</p> <p>2 デジタル田園都市国家構想実現に向けた取組に ついて</p> <p>(1) マイナンバーカードについて</p> <p>ア 普及促進に向けた取組と普及状況について</p> <p>(2) 誰一人取り残さないデジタル化について</p> <p>ア デジタル弱者に向けたこれまでの取組と今 後の予定について</p> <p>(3) 佐久市DX推進計画について</p> <p>ア 計画の概要と佐久市らしさについて</p> <p>イ 実現に向けた取組について</p> <p>(4) 令和5年度における主な新規デジタル関連事 業について</p> <p>ア デジタル人材育成・就労支援事業について</p> <p>イ 通学バス見える化システムP o C事業につ いて</p>
6	S A K U の 風 (高柳博行)	<p>1 佐久市気候非常事態宣言後の取組について</p> <p>(1) 2030年度までの二酸化炭素の排出量削減目標 について</p> <p>ア 部門別削減目標数値について</p> <p>イ 部門別具体的計画内容について</p> <p>(2) 2050年カーボンニュートラルについて</p> <p>(3) バルーンフェスティバルでの二酸化炭素の排 出量の現状と削減方針について</p> <p>ア 昨年のフェスティバルでの二酸化炭素の排 出量について</p> <p>イ 実質排出量ゼロ化に向けた削減策について</p> <p>2 谷川及び田子川の改良復旧の進捗状況について</p> <p>(1) 改良復旧の整備状況について</p> <p>ア 護岸工事の進捗状況について</p> <p>(2) 改良復旧の課題について</p> <p>(3) 今後の事業展開について</p>
7	清 和 会 (小金沢昭秀)	<p>1 佐久市における今後の農林水産業の振興について</p> <p>(1) 農業について</p> <p>ア 新規就農者や農業後継者の確保・育成につ いて</p> <p>イ 経営感覚に優れた担い手への支援とスマー ト農業技術の導入による省力化栽培等による 経営規模拡大について</p> <p>ウ 「人・農地プラン」の策定とその進行策につ いて</p>

質問 順位	質 問 者	質 問 要 旨
		エ 佐久市産果樹のブランド化について オ 農業用施設の維持管理と長寿命化について (2) 林業について ア 森林環境譲与税を活用した事業について イ 地元産材の利用促進について ウ 有害鳥獣対策について (3) 水産業について ア 小鮎の出荷状況について イ 事業継承や新規参入の促進と新たな生産者 確保、生産拡大について
		2 佐久市のスポーツ施策について (1) 生涯スポーツの振興について ア スポーツイベントや教室の開催について イ スポーツ活動に伴うリスク軽減について (2) 競技スポーツの振興について ア 大会やイベント開催について (3) スポーツの持つ多面的機能の活用について ア 地域の強みやスポーツ資源を生かしたスポ ーツイベントの開催とスポーツ合宿の誘致に ついて イ 令和10年に長野県で開催予定の国民スポ ーツ大会・全国障害者スポーツ大会について
		3 職員の育成と人事配置について (1) 職員の適性把握と人事配置について ア 人事異動に関しては、どのような基準をも とに行っているか (2) 専門性の高い職員の育成・採用と在籍期間に ついて ア 専門性の高い職員をどのように育成・採用 しているか イ 専門性の高い部署においては、在籍期間の 延長も重要と考えるが、市の考え方をお聞き したい

1	令和政策研究会	2時間20分	3月 2日 (木)	10:00～
2	氣志の会	1時間20分		
3	みらいの風	1時間20分		
4	日本共産党	60分		
5	公明党	60分	3月 3日 (金)	9:00～
6	S A K U の風	60分		
7	清和会	60分		